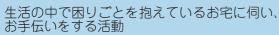
支え合い活動とは…

▶日常生活の困りごとに対する手伝い



掃除・ごみ出し・買い物・雪かき・見守り・話し相手など

▶多様な「通いの場・集いの場」の開催・参加

運動や体操、趣味の活動、おしゃべり・交流会など





活動で解決できることもあります。 ことについては、 地域住民み るさまざまな主体による支え合い 高齢者などが抱える生活上の困り んなが「自分にできる 地域住民を中

地域での支え合いが大切

地域の支え合い活動をひろげるための取り組みを進めています

西地区、松原地区では、地域の現状を把握し、地域の支え合い活動 をつくり出していくために、住民チームでの話し合い「支え合いを考 える会」を継続して行っています。

令和元年度には「地域づくりフォーラム」後、各地区で3回「支え 合い井戸端会議」を開催し、令和2年度からは「支え合いを考える 会」を開催しています。



「支え合いを考える会」活動の様子

今年度は、両地区とも7月に勉強会を開催し、「ニーズを把握するためにもみんなが発言しやすい場の 設定が必要」「高齢者の居場所づくりが必要」といった声が聞かれました。

他の地区でも、今後このような取り組みを行っていく予定をしていますので、皆さんの地区で開催する 際はぜひご参加ください。



このような取り組みから、実際に地区の中で支え合い活動が始まって ()ます。

西地区の津内町1丁目では、高齢者へのお弁当配布や高齢者への生活 サポートが始まりました。冬場は雪かきなども行う予定です。

いますので

「みんなで

地域のことを

きた

い方

「支え合

い活動

推進員は

康課に配置

また、松原地区では月1回体操の場が始まったところもあります。

つくって に参加-

きた

方

は

ぜひご相 い活動を

い方

「支え合

談ください

内町1丁目での活動の様子



続けられるよう、 くりを広げていきましょう。 支え合いの地域づ して暮ら

動を紹介

ぜひご覧ください (地域支え合い 住み慣れた地域で安心 # していますので 「支え合い 推進員通信) 通

4つの団体の支え合い活 こちらも 第 3 よう

地域支え合い推進員 きえて (1 きま

地域で行 わ いる支え

課題 介護サ されます。 敦賀市 それに伴い 全国的に少子高齢化 の現状

困りごとなどが増加することが予想 や高齢者のみの世帯・ でも同じ問題を抱えています。 万や認知症の方などが増加します。 一方で、 少子高齢化が進むと、 として顕在化しており、 ビスだけでは解決できない 家族介護者の負担や 介護が必要な 人口減少が 人暮らし 敦賀市

を抱える方が今後ますます増えて 不足していきます。 そのため、地域の中で、 介護に携わる専門職は

少子高齢化が進むと…

地域の中で困りごとを 抱える人が増える



地域包括支援センター

ケアマネジャ

ごみ出し 雪かき 大掃除 買い物 など

	H12.3		R3.3	20年前と 比較すると
人口	68,899人	•	64,548人	約4,300人減
高齢者人口(65歳以上)	12,657人	•	18,758人	約6,100人増
高齢化率	18.4%	•	29.1%	約10%増

う地域づくりが求められてい

地域住民も一緒になって支え合

専門職によるサ

ービスだけでな

年々厳しくなっています。

願いではないでしょうか。

しかし、

して生活したいというのは、 さまざまな社会課題に対応するた いつまでも住み慣れた地域で安心 高齢者を取り巻く状況は んなで支える地域づ けら 誰もの るよう

地域で安心

地域共生のまちづくりへ

在宅医療

通院・入院

高齢者を支える若い世代が減少する中、これまでの専 門職による支援だけでは行き届かない部分も出てきま す。そこで、これからはご近所からボランティア、専門 職まで地域みんなで支援していく必要があります。

> 市内でも、ごみ出しや買い物、 雪かきなどすでに支え合い活動を 始めている地域もあります。

高齢者や障がい者、子どもなど 全ての人々が、地域や暮らしの中 で役割を持ち、支え・支えられる 関係を共につくる「地域共生」の まちづくりを目指しています。

好評配布中

「敦賀市情報マップ ちょっとサポート編」

市内でお手伝いサービスを 行っている事業所を掲載してい ます。ご希望の方に

NPO 地域団体 ボランティア団体 多様な主体による 支え合い活動 地域住民 地域のお店・会社・事業所

訪問介護・

の立ち上げや運営の

サポ

を

地域に必要な支え合

い活動

人と人とをつな

います